

## 第64回交流会報告 北部地区副部長 三上 裕司

2021年4月14日(木)第64回交流会は、川越商工会議所青年部の交流会としては初となるオンライン形式で開催いたしました。今なお続くコロナ禍の中で、昨年中は計画をすれども、殆ど活動らしい活動が青年部としてできない状態でした。そんな中で、確実に開催するにはどのような形式がよいか、アフターコロナを見据えて、青年部として目を向けなければならないことは何か、ということを中心に置いて今回の交流会を計画いたしました。今回の第64回交流会は、「世界から見たSDGs 企業から見たSDGs ～選ばれる企業へ～」と題して、お二人の講師をお招きして講演会を実施いたしました。まず前半には、2019年度国連少女国連大使としてジュネーブに派遣され、国連本部にて学ばれたことをさまざまな地域・企業国際アスビーチを行っている、学校法人太田国際学園くま国際アカデミー高等学校2年生 島村 仙さんにお話をいただきました。島村さんからは、SDGsが国際社会においてどのようなものであるのか、取り組むことの意義、そして為しえなかった場合、将来どのような影響が社会に出てくると予想されているのかを、高校生という若い世代の方から見た危機感とともに私たち大人世代に投げかけていただきました。その内容は一人の人間として、また子を持つ親として将来の環境問題に対しての大きな気付きを与えていただくものでした。そして後半は、SDGsの達成に向けた中小企業の個別支援を実施しており、2020年に内閣特命担当大臣賞を受賞し、埼玉県ともSDGsの推進などを柱とした包括連携協定を締結された、三井住友海上保険株式会社の営業推進部長 福島 崇男 様より更に掘り下げてお話をいただきました。前半で個人として推進できるSDGsを学び、福島様からは、立場を変えて地域で活動する経済人である私たちが、企業が社会から受けるリスクとその回避する術を、SDGsの問題と絡めてリスクマネジメントの重要性を示していただきました。企業だからこそ取り組まなくてはならない諸問題を無視したときに、企業に降りかかるリスクというものがかげに甚大であるかを示された内容は、私たちが仕事の上でSDGsに目を向ける良い転機となったものと感じております。お二人の講演の後、第2部としてオンラインでの懇親会を小規模グループに分かれて意見交換を行いました。時間が足りなくなるほど多くの意見交換がなされました。このことは、皆さんのSDGsに対する意識の高さを示す一端となったと感じております。そして青年部がSDGs推進の担い手として今後も活動し、今回の第64回交流会がその契機となったならば幸いです。



## 相談役挨拶 肥沼相談役

飯野部長の連投を受けて相談役として皆様には再度お世話になることになりました。2年前に新たな試みへの挑戦を胸に意気揚々とスタートした前期でしたが後半は部員の皆さんにとって事業所も青年部活動も苦勞の連続であったと思います。現況下においても青年部に留まり飯野部長以下役員の皆さんと青年部を支えていただいた部員の皆様方には感謝の言葉しかありません。各交流会をはじめ、小江戸川越ハーフマラソンや夏まつりの中止、五輪の延期など残念な出来事が多かったことは確かではありますが、様々な事柄への向き合い方の変化の必要性が叫ばれる中で、自らが関わる仕事も含めた社会活動をいかにして適応させていくのか? 青年部に対する期待は大であると感じています。求められる変化と守るべき大切なものを見極めや両者のバランス感覚を常に意識しながら部員の皆さんと歩んでまいりたいと考えております。2年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 東部地区 萩原副部長

今年度より東部地区副部長を仰せつかることになりました、萩原会計事務所の萩原武馬と申します。川越生まれ川越育ちの私ですが、事業所は南古谷という東端の地域にあり、親の事業を継いだ2代目でもありません。青年部の入会当初は仲間もおらず、私にとっては居心地の悪い場所でしたが、徐々に仲間も増え、青年部活動がとても楽しいものになってきています。これから数年間にわたり団塊の世代Jrが50歳を迎え、多くの部員が卒業していくため、青年部においては会員増強が喫緊の課題となります。若手事業者の皆さまに魅力ある会であることを感じてもらうためには、コロナ禍における各種制約を守りつつも、交流会や地区会を熱気あふれるものにする必要があるでしょう。そのためには青年部員の皆さまのお力添えが欠かせません。飯野部長のもと役員一同一致団結して、青年部員の皆さまが積極的に参加し活躍するような交流会企画を練り上げていく所存です。2年間よろしくお願い申し上げます。



## 情報発信室 都丸副部長

2021年4月より2年間、情報発信室を担当させていただきます、副部長の都丸真理です。当室は主に会報誌「鐘の音」の制作と、青年部ホームページの更新を受け持っています。担いとしましては、各地区と会員の皆さまの横のつながりを広げ、外部への積極的な発信で会員拡大の一助となる役目かと思っております。メンバーは東西南北地区からそれぞれ出向していただいた、能力が高く今後の青年部においてさらに活躍が期待される精鋭の7名です。今年度は隔々まで読みたくなる「鐘の音」の制作を、来年度にはホームページのデザインを変更し、内外共に常に発信が目指されるサイトを目指し、今月より頻度の高い更新をしていきます。また2022年2月に行われる全体協議会においては、魅力創造室と合同で担当する予定ですので、会員の皆さまのお力添えをいただければ幸いです。2023年3月までの2年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

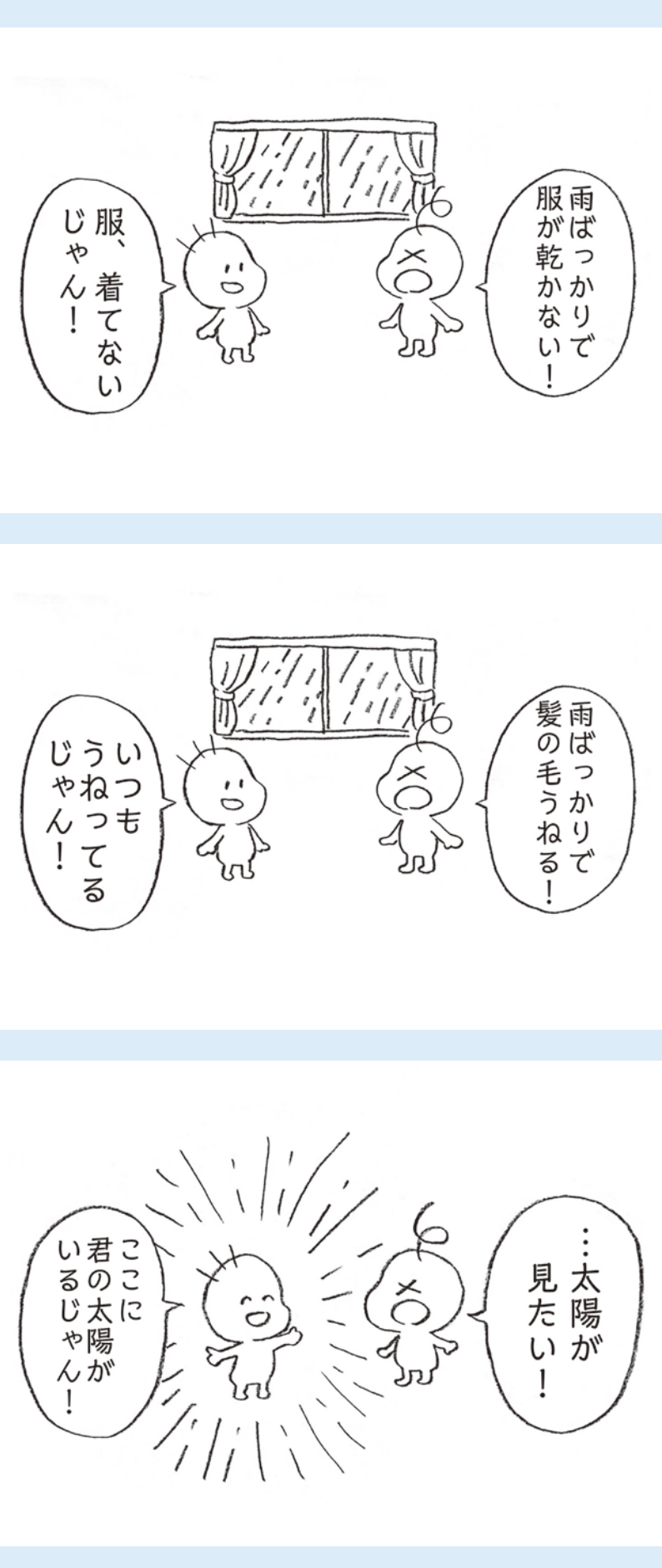


## 魅力創造室 田中副部長

こんにちは。魅力創造室の田中です。私は兵庫県西宮市出身の元関西人です。阪神淡路大震災にて被災し、住居を探し少しの期間テントを積んでバイクで日本を放浪。埼玉県にやってきました。のちに川越出身の夫に出会い川越市民となりました。10年前の東日本大震災の時に会社員をやめて、花屋を始めました。たんとんと経歴を書き連ねましたが、いつも何もないところからのスタートではありますが、全ての時間の中で、人との繋がりがあり、できた縁によってここまでやっています。花屋を始めたときに、一つの場所に根を下ろすことに少し怖さがありました。(こんな場所のお店に人が来るのだろうか)ですが、商工会議所に入っていると、いろんな繋がりが増えてお店の運営に取り入れてみたいことやチャレンジしたいことが次々と見つかっていききました。魅力創造室の活動では、この繋がりが生まれてくるそれぞれの魅力を活かして、青年部の魅力をたくさんの人に伝えたいと考えています。思い込んで実現させる力と、生き抜く気力は人一倍ありますので、このような時期の中でも笑いと魅力の絶えない活動をしていきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## テーマ「梅雨」



## 梅雨最高～♪



## New Face 新入部員紹介



東部地区 HALU 代表取締役 佐久間 雄大さん

ます。販促品の企画提案～デザイン作成～印刷及び作成業務～サイン関連の設置施工までの業務をワンストップで対応させていただいております。一時は、都内に勤めていた期間は川越の地を離れておりましたが、20年以上生活してきた地域に貢献できるような青年部の活動に参加させてきたご縁です。コロナ禍の中まだまだ厳しい状況の中、行動の積みかさねでより良い方向に向かっていくことを信じて活動してまいります。どうぞよろしくお願い致します。



西部地区 TK studio 代表 大石 虎士郎さん

空手指導を通じて、お自身が成長する上で役立つ「礼儀作法の習得」と「心技体の鍛錬」を実施できる場所を。パーソナルトレーニングではお客様の身体の悩みを解決して、人生をより豊かにできるようなサービスの提供を目指します。どちらも「心」と「体」を扱う仕事ですので、提供する側のスタッフ自らが日々勉強と実践を繰り返し、成長していけるように心がけていきます。川越の地で皆様と交流させていただきながら、コミュニティの一員として少しでもお力になれるように頑張ります。今後ともよろしくお願い致します。

皆様はじめまして。パーソナルトレーニングスタジオ「TK studio」空手道場「大石道場」を運営しています。大石虎士郎と申します。よろしくお願致します。ご縁をいただき2020年10月より神明町にて「TK studio」をオープンさせていただきました。

川越商工会議所青年部 登録事業者数 181社 (令和3年6月25日現在)  
 ○川越商工会議所青年部 会報誌「鐘の音」第73号 令和3年6月発行  
 編集・発行責任者 川越商工会議所青年部 情報発信室 副部長 都丸真理  
 ○情報発信室 幹事: 大谷 大輔/櫻井 良樹 松本 勇一/川口 真穂/滝本 麗華/佐々木 大志/川畑 正和